

市民と議会のわがまちトーク(意見交換会)

舞鶴市議会（市民文教委員会）

《日時》 令和7年4月26日(土) 午前10時～11時30分頃

《場所》 舞鶴市役所本庁 本館4階（舞鶴市字北吸1044）

《テーマ》

次世代に継承する文化活動の活性化
～すべての人が文化芸術に出会う機会を～

〔市民と議会のわがまちトークとは〕

市民の皆様の多様な意見を舞鶴市議会の市民文教委員会がお聞きし、市政に反映させるため、意見交換会を開催します。

今回は、「次世代に継承する文化活動の活性化～すべての人が文化芸術に出会う機会を～」をテーマとし、5つのグループに分かれて意見交換を行います。

〔意見交換会における意見等の反映〕

参加予定者

テーマに関心のある方（公募）

学生（文化系クラブ等に所属されている学生）

文化活動をされている方

文化協会に所属されている方

委員長を除く各委員が
ファシリテーター（進行役）
となって意見交換を行います

意見交換

1グループ当たり
委員1人と参加者4～6人

市民文教委員会の委員



谷川 眞司
委員長（総括）



仲井 玲子
副委員長



伊田 悦子
委員



上羽 和幸
委員



眞下 隆史
委員



水嶋 一明
委員

〔意見集約・情報共有・課題整理等〕

➤ 議会の活動に生かす
➤ 政策提言につなげる

【テーマ設定の理由と背景】

今日の社会において、経済的な豊かさが、必ずしも心の豊かさをもたらすものではなく、心豊かな質の高い生活を送るためには、文化の力が必要であるものと考えます。

また、この土地で生まれ、育まれ、受け継がれてきた文化は、ふるさとへの誇りや郷土愛を醸成し、これら文化を活かしたまちづくりを進めることにより、個性豊かな魅力あるまち、賑わいのある元気なまちを創造することにもつながります。

今後のまちづくりにおいて、文化は大きな役割を果たすものであり、行政のみならず、企業や民間団体、そして、市民一人ひとりが文化を支える担い手となって、文化の振興を図っていくことが大切になります。

しかしながら、文化の担い手の減少や次世代への育成が非常に重要な課題となっています。

すべての人が文化に出会う機会をつくり、市民、特に、若者が文化に触れる機会を増やし、文化力の育成を図るとともに、文化活動の主役である市民が主体的に活動し、文化を牽引できるようにするための方策について意見交換を行い、文化活動の活性化を図る取組を見出し、より効果的な市への政策提言につなげることを目的としております。

【皆様からいただきたい御意見等】

すべての人が文化芸術に触れる機会を創出し、市民の文化芸術活動を活性化するための環境整備や市民文化団体、NPO、産業団体など多様な主体が相互に交流・連携して文化創造活動の活性化と継承を図る取組が必要であることから、その方策について、ご意見いただく方策について、御参加いただく皆様の御意見をお聞かせください。

御参加いただく皆様には、舞鶴市の文化活動の現状や課題、舞鶴市の取組などに関する資料をあらかじめ送付し、共通の認識の下で、意見交換を行っていただきたいと思っております。

意見交換は、各グループに1人ずつ入る議員（市民文教委員会委員）が進行役となり、模造紙と付箋（ふせん）を使って意見を整理しながら共有し、まとめていく予定です。

各グループの発表は議員が行います。



意見交換の様子

